

報道資料

発表日：令和2年1月15日
問合せ先：農林部畜産課
億、高田
0742-27-7448(内線3881)

沖縄県うるま市におけるCSF（豚コレラ）発生 （国内55例目）に伴う県内での対応について

1月15日に、国内52例目、53例目及び54例目の移動制限区域内にある沖縄県うるま市の農場において、国内55例目のCSFが発生しました。これに伴う本県での対応状況は以下のとおりです。現時点で、県内でのCSFを疑う異常は認められず、今後も引き続き情報把握に努めてまいります。

1 発生を受けての県内での対応

- 家畜保健衛生所が豚・いのししの県内飼養者（17戸※）に対し、電話と広報紙による注意喚起を実施
＜調査事項等＞
異常の有無の確認、飼養衛生管理の再確認、早期発見・早期通報の再徹底
- 家畜保健衛生所が定期的に豚・いのししの県内飼養者に対して立入し臨床検査実施
- 緊急野生いのしし対策として、県内農家に対し電気柵の貸付を実施中
- 県HPに「注意喚起」の文書を掲載
- 農林部内を中心として、発生状況・対応状況の情報共有

※県内飼養者 合計17戸（5,799頭）
（豚11戸（5,783頭）、いのしし・ミニブタ6戸（16頭））

2 報道機関へのお願い

- 1) CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。
- 2) 各農場への取材は、本病を含む家畜伝染病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むようご協力をお願いいたします。
- 3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、ご協力をお願いします。

3 その他

CSFは、平成30年9月に岐阜県内の豚で国内では26年ぶりに発生し、これまで岐阜県で22例（22例目 9月22日）、愛知県で18例（18例目 12月17日）、三重県で1例（7月24日）、福井県で2例（2例目 8月12日）、埼玉県で5例（5例目 11月9日）、長野県で2例（2例目 9月19日）、山梨県で1例（11月16日）、沖縄県で3例（3例目 1月10日）、それ以外では、国内8例目の関連農場として長野県、岐阜県、大阪府、滋賀県（2月6日）で発生が確認されています。

なお、野生いのししにおいても、平成30年9月以降、岐阜県で1,138頭、愛知県で110頭、三重県で33頭、福井県で44頭、長野県で149頭、富山県で31頭、石川県で14頭、滋賀県で89頭、埼玉県で52頭、群馬県で15頭、静岡県で40頭、山梨県で3頭のCSF陽性が確認されています（1月10日現在）。